



広報誌リニューアル！



チェーンソー操作技能
基本トレーニング



伊香堰頭首工、
改修工事に着手



スマート農業の推進



直播タマネギの
生産振興



新規就農者の確保



きのこ・樹実類の
出荷制限



農林水産部
YouTubeチャンネル



しらかわ食・人フェア



就農相談会



肥料価格高騰対策事業



新型コロナウイルス感
染症に関連する支援

「清流が育む、

豊かな未来を拓く県南の農林業」

～インフォメーション～

県南農林だよりから新たな広報誌へ

県南農林事務所では、これまで約2ヶ月ごとに年6回「県南農林だより」を発行してきましたが、読者の皆様方からのご意見や、ペーパーレス化が進む社会動向、さらには、今年度から県内の農林水産業に関する情報を動画で発信する取組がスタートしたことを踏まえ、デジタル配信を前提とした新たな広報誌に移行することとしました。

今後は次のようなスケジュールで発行するほか、農林事務所の公式Instagramの開設も予定しており、多様な媒体を活用しながら皆様方のお役に立つ情報や県の取組をタイムリーにお届けしてまいります。

〈基本的な発行の考え方〉

原則、重要度の高い施策や技術情報、注意喚起やお知らせを中心とした内容を年4回発行します。ただし、農林業を取り巻く国際情勢の急激な変化や、災害などに関連する緊急性の高い施策情報等については、随時増刊号を発行して対応します。

分類	発行時期	主な掲載記事
定期便	4月25日頃	施策目標、新規事業、公募事業、事務所の体制、前年度の事業成果など
	8月30日頃※	鳥獣害・病害虫対策、作業安全、秋のイベント、きのこ・樹実類の出荷制限など
	1月15日頃	次年度の県施策、研修・セミナー、山火事防止など
	3月10日頃	防霜対策、作業安全、山菜出荷制限など
増刊号	随時	災害関連情報、感染症対策情報、補正予算情報など

※創刊につき、本誌は10月14日発行となりました。次号は1月15日が休日のため1月16日に発行いたします。

チェーンソー操作技能基本トレーニング

森林林業部では、安全で正確、迅速な伐木造材作業を行うためのチェーンソー操作技能基本トレーニングを令和3年度から実施しています。令和3年度は、8回の開催で延べ21名が参加しました。令和4年度は、基礎編と指導者編に分けて実施しており、これまで、基礎編は7回開催し延べ33名、指導者編は2回で延べ7名が参加しました。

トレーニングは、日本伐木チャンピオンシップで行われる伐倒競技や丸太輪切り競技等の評価基準を参考に、奥久慈木材流通センターの機械庫において1回あたり2時間程度で実施しています。

今後も、基礎編、指導者編を実施しますので興味のある方は是非ご参加ください。

詳しくは、森林林業部（0247-33-2121）まで お問い合わせください。見学も大歓迎ですが、その際はイヤマフ・フェイスガード付きヘルメットをご持参ください。

<今後の開催予定>

基礎編 令和4年11月25日

指導者編 令和4年10月14日、令和4年12月21日、
令和5年1月27日、令和5年2月24日



枝払いトレーニング



ガンマークを使った伐倒方向の確認

伊香堰頭首工の改修工事に着手

県では農村環境の保全と農業生産性の向上を目的として、農地の整備、頭首工やため池などの農業用水利施設の改修工事等を行っています。今年度、伊香堰頭首工の改修工事に着手し、令和6年度の完成を目指しています。

本頭首工は、埴町を流れる一級河川久慈川に位置し、同町や矢祭町のおよそ104haの農地等に用水を供給しているコンクリート固定堰（堰長128m、堰高1.8m）です。

建設後70年が経過し、堰本体や附帯施設の摩耗欠損、ゲート設備の錆や腐食など老朽化が著しい状況であり、農業用水の安定的な供給や洪水等からの安全を確保するため、農業用河川工作物応急対策事業により、改修工事を行っています。



改修工事前の伊香堰頭首工

今年度は、取水樋門工と洪水吐の改修、ゲート設備の更新を行う計画としています。

管内では、福島県総合計画に位置づけられている防災・減災・国土強靱化の取組を推進するため、農業水利施設の防災・減災対策を進めており、来年度以降も長坂堰（西郷村）や庄司場堰（白河市）など施設の改修・補強を順次進める計画としています。

スマート農業の推進

スマート農業と聞くと何を想像しますか？農薬を散布するドローンや自動運転のトラクタを想像する方も多いと思います。スマート農業とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のことです。ドローンはもちろん、アシストスーツやセンサーを活用した自動施肥、自動灌水システムなどもその代表例です。

では、なぜ今スマート農業が注目されているのでしょうか？

農業分野では、担い手の減少や高齢化が進み、労働力不足が深刻な問題となっています。加えて、依然として人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化、人手確保、作業負担の軽減が大きな課題となっています。

スマート農業の導入により、「作業の自動化」や「情報共有の簡易化」、「データの活用」がなされ、これらの課題解決が進むと考えられます。

しかし、スマート農業を始めるには、高価な機器や機械の購入が必須で、使いこなせるのか、効果があるのかなどの不安から、二の足を踏む生産者も多いと思われます。



可変施肥田植え機に乗車する参加者



可変施肥田植実証までの取組説明

そこで県では、実用化が進んでいるスマート農業技術の実証試験を行い、省力化や低コスト化などの効果等を調査しています。併せて、実証ほでの実演会等で実際の技術・機械を見てもらい、実証ほの栽培者から感想を聞くなど導入に対する不安などを解消できるようにしています。

当管内では、日射センサーを用いた自動遮光システムによるトマト栽培と、遠隔・自動制御化するほ場水管理システムでの水田の水管理、減肥等を目的とした可変施肥田植機による田植えについて次のとおり実証・実演を行いました。広くスマート農業について理解を深める取組を進めています。

今後もスマート農業の理解を広げ、高齢化や労働力不足などの課題解決の手法として導入が進むよう技術の啓発と普及に向けた活動を続けてまいります。

1 スマート農業現地検討会（自動遮光システムによるトマト栽培実演会）

- (1) 日 時：令和4年8月10日(水)
- (2) 視察場所：泉崎村関和久地内
- (3) 参加者：生産者、市町村、JA、県関係機関等計24名

2 可変施肥田植実演会（減肥等を目的とした可変施肥田植機による田植機による実演会）

- (1) 日 時：令和4年5月23日(月)
- (2) 視察場所：泉崎村泉崎地内
- (3) 内 容：生産者、市町村、JA、県関係機関等計19名

3 水管理システム実演会（遠隔・自動制御化するほ場水管理システムの実演会）

- (1) 日 時：令和4年6月27日(月)
- (2) 視察場所：泉崎村泉崎地内
- (3) 参加者：生産者、市町村、JA、土地改良区、県関係機関等計25名

ちよくは

直播タマネギの生産振興

当管内は、土地利用型作物であるブロッコリーなどの県内有数の野菜産地であり、今後も消費地への野菜供給基地として持続的な発展が期待されている一方、担い手の減少や高齢化が進み、耕作放棄地の増加が課題となっています。

そこで、水稻や大豆、ブロッコリーと組み合わせることができ、省力的な機械化一貫体系が確立されているタマネギ栽培技術の導入と普及を図るため、「直播タマネギセミナー」を開催しました。セミナーではタマネギの基本的な栽培技術や省力的な直播栽培技術について、説明と実演を行いました。今後も農地を有効活用できる省力的な土地利用型作物の普及を進めてまいります。



農業総合センター職員による畝立同時多条播種機の説明

「直播タマネギセミナー」

- (1) 日 時：令和4年9月13日（火）
- (2) 場 所：株式会社吉野家ファーム福島ほ場
（白河市表郷高木字花輪）
- (3) 参加者：生産者、市町村、JA、
県関係機関等約60名

新規就農者の確保

現在の農業は、農業就業人口の減少や高齢化が進み担い手不足が深刻です。

福島県では、7年連続で200人を超える方が新規に就農していますが、継続して新規就農者を確保していくため、県ではその取組の一つとして管内の農業高校生を対象とした「県南地方フレッシュ農業講座」を開催し、農業者との意見交換や、農業生産現場の視察等を行いました。

このような取組を通して、農業高校生に対して地域農業の魅力・やりがいを伝え、就農意欲の向上による新規就農者の確保に努めています。

1 県南地方フレッシュ農業講座

- (1) 日 時：令和4年9月7日（水）
- (2) 視察場所：ア 福島県農業総合センター農業短期大学校
イ ガンバ農園アスパラガスほ場（白河市板橋）
- (3) 参加者：福島県立白河実業高校 農業科2年生 30名

2 県南地方フレッシュ農業講座

- (1) 日 時：令和4年9月26日（月）
- (2) 視察場所：（株）JA東西しらかわグリーンファーム（埴町湯岐）
- (3) 参加者：福島県立修明高校 農業生産学科1年生 29名

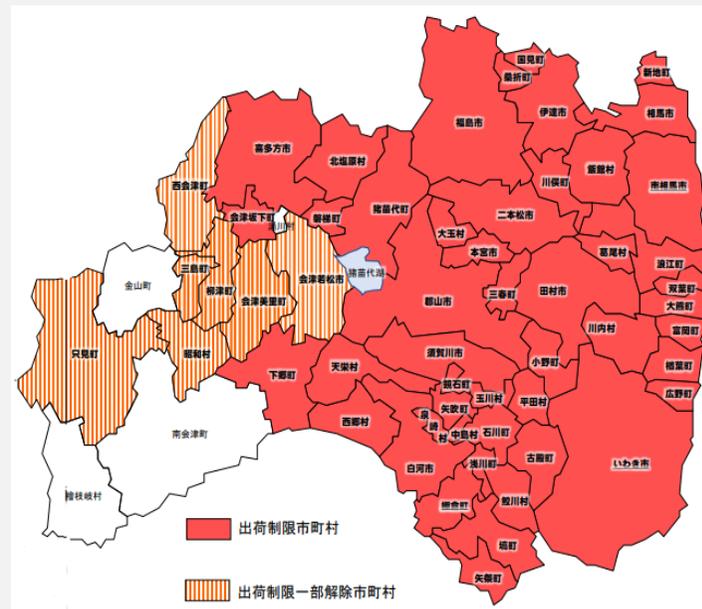


グリーンファームの説明を受ける修明高校のみなさん

きのこ・樹実類の出荷制限

県内で採取される**野生きのこ**は、これまでのモニタリング検査により、会津地方の一部市町村・一部種類を除いて出荷が制限されています。それらの市町村で採取されたものは出荷することができません。また、加工食品の原料として使用することもできませんのでご注意ください。

	野生きのこ (菌根菌類、腐生菌類)
該当市町村(県南地方)	白河市、西郷村、泉崎村、中島村、 矢吹町、棚倉町、矢祭町、埴町、 鮫川村
制限内容	出荷できません (棚倉町は摂取も制限されています)



【野生きのこ・樹実類に関する問い合わせ先】
福島県県南農林事務所森林林業部林業課
電話番号:0247-33-2121

樹実類(きのこ)の一部種類において、出荷前に県のモニタリング検査が必要な場合がありますのでご注意ください。

- ・あけび
- ・くるみ
- ・とちのみ をモニタリング検査に出される際は、検体を粉砕しないようお願いします。

※出荷制限品目・市町村の情報は、次のホームページでご確認ください。
[きのこ、山菜類のモニタリングと出荷制限品目・市町村について]
(福島県林業振興課)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>

農林水産部 YouTubeチャンネルの紹介

県では、令和4年度から県産農林水産物のブランド力強化の取組の一つとして、「福島県農林水産部FA宣言」と称し、県産農林水産物や農山漁村の魅力、各種行事、震災後の復興・風評払拭に向け懸命に努力されている生産者の皆さんの姿などを、職員自らが直接取材し、動画等により情報発信することで、おいしさや「福島ならではの」魅力を伝えていく取組をスタートいたしました。



野菜嫌いなやついる!? いねえよなあ!!
～夏・秋の味覚まるごとキャンペーン～

当事務所のHPにて当事務所が投稿した動画をまとめているので、ぜひご覧ください。(こちらをクリック!⇒)



川の生き物達 ～「生き物調査」(笹原小学校)～

県庁、各農林事務所などに所属している約1400人の農林水産部職員が、それぞれ自由な発想で、企画・制作しているYouTube動画「1400のネタばらし」ですが、当事務所の職員も、県南地方の魅力をみなさまにお伝えするべく動画を投稿しています。(画像クリックでYouTubeに飛びます。)



[ヘッドラインに戻る](#)

※写真は昨年開催時のものです



「しらかわ食・人フェア2022」を開催します！

10月21日（金）から25日（火）までの5日間、イオン白河西郷店において、6次化商品の販売会「しらかわ食・人フェア2022」を開催します。

地元の農林水産物を原材料とした商品・加工品（6次化商品）を販売いたします。是非お越しく下さい。

（次ページに出品者一覧掲載）

共催：しらかわ・地域産業6次化推進協議会
（事務局：福島県県南農林事務所）、
県南販路拡大促進協議会

日時：10月21日（金）から25日（火）
9時から18時まで（21日は10時から開始）

場所：イオン白河西郷店 催事コーナー
（西郷村大字小田倉字岩下11-1）

しらかわ食・人フェア2022

しょく にん

[ヘッドラインに戻る](#)

参加店一覧

	名称	所在	主な商品
1	楽翁堂	白河市	ギフトセット
2	白河ブルーベリーヒル	白河市	ブルーベリージャム、ドレッシング
3	北條農園	白河市	アップルパイ、リンゴジュース
4	けんちゃんファーム	白河市	ナツハゼジャム、蜂蜜
5	株式会社カタノ	白河市	そばパスタ
6	有限会社南部	白河市	ももジャム、ジュース
7	有限会社肉の秋元本店	白河市	ウインナー、ロース味噌漬け
8	ゆうゆうファーム	白河市	ガバオの素、バジル茶
9	有限会社山口こうじ店	白河市	甘酒
10	有限会社石井養鶏場	白河市	シフォンケーキ
11	藤野菜工房	白河市	唐辛子味噌
12	有限会社水月	白河市	南湖団子
13	株式会社しらかわ米穀	白河市	米
14	ハイランドポートブルワリー	西郷村	クラフトビール
15	亀石ファーマーズ	西郷村	きゅうりの漬け物
16	株式会社山市農産	西郷村	野菜
17	社会福祉法人こころん	泉崎村	卵、プリン
18	有限会社水野谷鶏卵店	中島村	卵、やきとり
19	小松屋本家	棚倉町	こんにゃく、卵黄みそ
20	東日本薬草合同会社	棚倉町	菊芋ジュース、菊芋チップス
21	株式会社グリーンルーツ	矢祭町	冷凍ラズベリー、ラズベリー菓子
22	珈琲香坊	矢祭町	珈琲
23	株式会社山のごちそう本舗	矢祭町	漬物、ゴボウ茶
24	NPO法人0073	福島市	干し芋
25	にこにこバラ園株式会社	須賀川市	花のジャム、ドライフラワー
26	笹屋皆川製菓	下郷町	そばまんじゅう、きんつば
27	民宿やまかのうや	只見町	どぶろく
28	NPO法人あたご	南会津町	凍み大根、ドライフルーツ



詳細は県南農林事務所のHPをご覧ください。

←表をクリックすると県南農林事務所のHPに飛びます。

ヘッドラインに戻る

就農相談会のお知らせ

当管内では、初の試みとして、就農相談会（ふくしま農業人フェア）を開催します。

当日は市町村や農業法人がブース出展を行います。

自営就農や雇用就農を希望する方など、就農に関心にある方はどなたでも参加可能ですので、奮ってご参加ください。

場所：JA夢みなみ営農経済本店・多目的ホール
（白河市弥次郎窪29-1）

※JA夢みなみ農産物直売所 り菜あんの隣の建物です。

日時：令和4年11月12日（土）13：00～16：30



詳しくはHPをチェック



[ふくのう](#)

肥料価格高騰対策事業のお知らせ

輸入化学肥料原料が大幅に減少しており、肥料価格が急騰しています。そこで、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の肥料費を支援します。

○支援対象：

令和4年6月から令和5年5月までに購入した肥料（令和4年秋肥と令和5年春肥）

○支援内容：

化学肥料低減の取組（チェックシートから2つ以上）を行ったうえで、前年度から増加した肥料費の7割を交付します。

○申請書類等：

本年秋肥（令和4年6～10月注文）および来年春肥（令和4年11月～令和5年5月注文）の肥料購入価格がわかるもの（注文票、請求書、領収書）など。申請は10月下旬（秋肥）と令和5年2月（春肥）の2回に分けて行います。

※詳しくは農林水産省ホームページをご覧ください

（URL：https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryu/220729.html）

◎お問い合わせ先：農業振興普及部 農業振興課（電話0248-23-1557）まで

新型コロナウイルス感染症関連の 支援などに係る情報

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農林業者への支援（県農林企画課HP）
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/corona01.html>

○コロナウイルス発症時の対応や農林業者等への国の支援等（農林水産省HP）
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

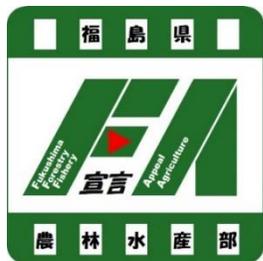
○当所の新型コロナウイルス感染症対策に関する相談窓口
（8:30～17:15（土日祝日を除く））

農業・林業の経営相談に応じるとともに、対応可能な支援制度を紹介します。

- ・ 農業に関すること 農業振興普及部（電話0248-23-1561）
- ・ 林業に関すること 森林林業部（電話0247-33-2121）

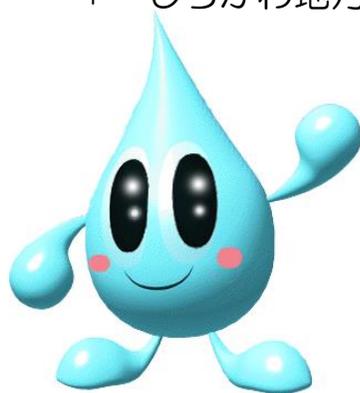


福島県農林水産部公式YouTubeチャンネル



福島県南部のしらかわ地方は自然豊かでグリーン・ツーリズム及び農業体験が盛んな地域。
農業体験、農業農村風景、食などをInstagramで紹介しています。

「 しらかわ地方グリーン・ツーリズム Instagram 」



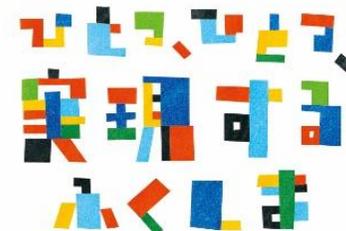
阿武隈川の源流から
生まれた水の妖精
「みなもん」



次号は1月16日に発行します！お楽しみに！

お問い合わせ

福島県県南農林事務所 企画部 地域農林企画課
住所 福島県白河市昭和町269番地(白河合同庁舎4階)
TEL 0248-23-1576 FAX 0248-23-1590
ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>



[ヘッドラインに戻る](#)